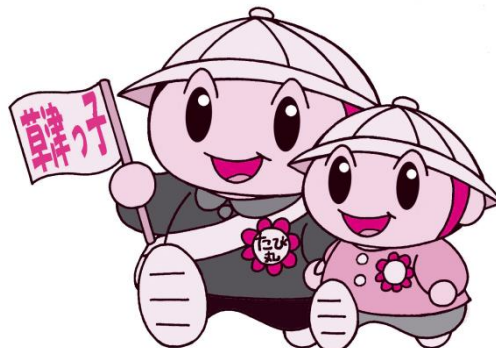


第2章 草津市の目指す子ども「草津っ子」

子どもは、未来を担う大切な存在であり、子どもが健やかに、豊かに育まれることは社会全体の願いです。近年、核家族化や共働き世帯の増加、子育ての孤立など、子どもと子育てを取り巻く環境は大きく変化しています。すべての子どもたちが、幼少期から成人するまで、家庭、地域、認定こども園、幼稚園および保育所や学校等で多くの人の愛に育まれながら、様々な経験をし、未来を担う存在として健やかに成長することを願い、子どもたちの将来に向けて社会全体で、「心豊かでたくましく生き、未来をつくる草津の子ども」の育ちを応援していきます。



草津市公認
マスコットキャラクター「たび丸」

草津市では、子どもの豊かな育ちと学びを確かなものとしながら、生涯にわたって必要な生きる力の基礎を培い、心豊かでたくましく生きる「草津っ子」の育成を目指します。（草津市乳幼児教育・保育指針より）

目指す子どもの姿 「草津っ子」

心豊かでたくましく生き、未来をつくる草津の子ども

いのちを大切にし、育む子ども
（健康・体力）

自分や周りの人、生物のいのちの大切さを理解し、守り育むことのできる子どもを育てます。

よく考え、主体的に行動する子ども
（学び）

いろいろな事柄に興味をもち、自分で考え、目標に向かって積極的に行動できる子どもを育てます。

人と豊かに関わる子ども
（豊かな人間性）

様々な経験を通して学び、深い関わりと、ひとつひとつの人とのつながりを大切にできる子どもを育てます。

生まれ育った地域に愛着をもつ子ども
（地域）

自然や歴史、文化など自分の育った地域に関心をもち、大人になってからも郷土への思いを大切にす子どもを育てます。

4 「草津っ子」育み事業

◎施策の目的

目指す子どもの姿 「草津っ子」

心豊かでたくましく生き、未来をつくる草津の子ども

子どもたちが、健やかに育つことを願い、家庭、地域、学校、企業、市など社会全体で、子どもの育ち（「草津っ子」の育み）を応援していきます。



草津市公認
マスコットキャラクター「たび丸」

◎取組内容

①いのちを大切にし、育む子ども（「体」育み事業）

家庭は子どもが育つ基盤となる場所であり、子どもの幸せと健やかな成長に重要な役割を担っています。家庭、認定こども園、幼稚園および保育所や学校等との連携を図りながら、子どもたちが生涯にわたって健康を維持するための基本的な生活習慣や運動習慣の習得等、健やかな育ちを支援します。

また、子どもたちが自然や人とふれあいながら、成長できる環境づくりとして、既設の公園などとあわせ、草津川跡地を活用したガーデンミュージアムや、（仮称）野村スポーツゾーンの整備を進めます。

想定される取組事例

- 保育士によるすこやか訪問の実施
- 離乳食レストランの開催
- 食育の推進
- CAP研修の実施
- 小学生体力向上プロジェクトの展開
- 中学生体力向上プロジェクトの展開
- 草津川跡地を活用したガーデンミュージアムの整備
- （仮称）野村スポーツゾーンの整備



▲ 食育教室

CAP研修：「Child Assault Prevention」の略で「子どもへの暴力防止」を意味しています。1978年にアメリカで作られたプログラムで、日本でも90年代以降、全国各地に広がりました。「安心・自信・自由」が、子どもの大切な3つの権利であること、暴力はこの権利を奪う行為であることを伝え、子どもが本来もっている力を引き出す人権教育プログラムで、子どもと大人のそれぞれを対象としたワークショップがあります。

②よく考え、主体的に行動する子ども（「学び」育み事業）

子どもたちが多くの時間を過ごす場である認定こども園、幼稚園および保育所や学校等では、子どもの心と生きる力に加えて、確かな学びの力を育てる本市独自の様々な取組を推進します。また、家庭での子育てを支援するため、母親だけでなく、父親、祖父母を対象とした各種講座・イベントを開催し、家族全体での子育てと学びを推進します。

さらに、文化、芸術、スポーツ、科学など幅広い分野で、様々な体験や人との関わりを通し、将来の夢や目標の実現に向けて、主体的に行動・参画する機会を設け、子どもの好奇心・探究心を育みます。

想定される取組事例

- ステップアップ推進事業（幼稚園）
- スペシャル授業 in 草津の実施（小学校）
- 認定こども園、幼稚園および保育所と小学校の連携事業の拡充
- 小学校・中学校の交流の実施
- 子育て講座の充実、プレママ・パパ（祖父母）講座、子育てシンポジウム等の開催
- ブックスタート事業の実施
- 草津市こども環境会議の開催
- ジュニアスポーツフェスティバルの開催
- ジュニアスポーツ推進事業（スポーツライフ創造事業）の実施
- その他子ども主体の参画事業



▲ スペシャル事業 in 草津

③人と豊かに関わる子ども（「心」育み事業）

子どもたち同士の幅広い関わりを通じて思いやりや協働の心を育むとともに、地域・学校などでの様々な出会いと交流により、思いやりの意識の醸成や集団でのルールを習得するなど、子どもの将来に向けた人間形成を図ります。

想定される取組事例

- 子育て支援センター、つどいの広場の整備
- 認定こども園、幼稚園および保育所の園庭開放
- 大学と連携した交流事業



▲ 親子ふれあい広場

④生まれ育った地域に愛着をもつ子ども（「ふるさと」育み事業）

子どもが地域の人との関わりを通して学び、家庭や学校、地域の協働により大人もともに成長する場として、歴史、自然、行事や人のつながりなど、子どもたちの住む地域の特性を活かし、地域での子どもの育ちや地域の子育て力を向上させる取組を推進します。

また、子ども、保護者と地域の人、これから子育てを経験する学生のつながりを構築するなど、地域での助け合いを通じた子育て環境づくりを進めます。

想定される取組事例

- 地域協働合校の推進
- 地域での子ども・子育て事業の充実
- 子育てサークルの拡充
- ファミリー・サポート・センター事業等による地域での相互扶助
- 図書館における子どもの読書活動の推進



▲ 地域協働合校

⑤「草津っ子」の普及、啓発

目指す子どもの姿を市民の方へ広報すると共に、「草津市シティセールスアクションプラン」に基づき、子育てしやすいまちとしての草津市の魅力を発信し、子どもを社会全体で育てるまちの実現を目指します。

想定される取組事例

- 「草津っ子」を広報する取組の実施
- 子どもの育成に取り組む地域やサークルの事業への支援等



【目標値】ベンチマーク

子育てのしやすさ（アンケート調査の実施）

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
満足度	80%	81%	82%	83%	84%

※「草津市は子育てしやすい所ですか。」の問いに「そう思う／どちらかというと思う」と答えた人の割合

「体」育み事業

- 基本的な生活習慣や運動習慣の習得等、子どもの健やかな育ちを支援
- 自然や人とふれあい、成長できる環境づくりの推進

【例えば】

- 保育士によるすこやか訪問
- 離乳食レストラン
- 草津川跡地を活用したガーデンミュージアムの整備

いのちを大切に、育む子ども

「心」育み事業

- 幅広い関わりを通じた思いやりや協働の心の育成と将来に向けた人間形成

【例えば】

- 子育て支援センター・つどいの広場の整備
- 認定こども園、幼稚園・保育所の園庭開放
- 大学と連携した交流事業

人と豊かに関わる子ども

「草津っ子」育み事業

生まれ育った地域に愛着をもつ子ども

よく考え主体的に行動する子ども

「ふるさと」育み事業

- 地域の特性を活かし、家庭や学校、地域の協働により地域での子どもの育ちや地域の子育て力を向上させる取組の推進
- 地域での助け合いを通じた子育て環境づくり

【例えば】

- 地域協働合校や地域での子育て事業
- 子育てサークル
- 図書館における子どもの読書活動

「学び」育み事業

- 確かな学びの力を育てる取組を推進
- 文化、芸術、スポーツ、科学など幅広い分野で主体的に行動・参画する機会を設け、子どもの好奇心・探究心を育成

【例えば】

- 子育て講座、プレママ・パパ講座
- ブックスタート事業の実施
- スペシャル授業 in 草津（小学校）

